

銭湯の壁面の絵で「猿」「夕日」「紅葉」は描いてはいけない3つのタブーとされています。「猿」は「客が去る」。「夕日」は「景気が落ちる」「家業が沈む」。「紅葉」は葉っぱが赤くなって落ちるので「赤字」を連想させるというわけです。定番の「富士山」は「末広がり」の形が縁起がよいとして、人気を呼んだようです。

社労士がズバリ! 職場のQ&A

今月のQ&A : 【自動車運転者の労働時間管理について教えてください】

Q 当社は運転手 25 名と営業職 1 名、事務職 2 名で運営する貨物の運送会社です。毎年 7 月に時間外・休日労働に関する「36 協定」を締結し届け出てきました。これまで運転手は、時間外労働時間の上限規制が猶予されていましたが、2024年4月以降はそれがなくなったそうです。対応のポイントを教えてください。

A 「36 協定」で定める時間外労働時間の上限は月 45 時間、年 360 時間ですが、これまで自動車運転の業務は猶予があり上限を超えても罰則はなく、また特定した期間についての特別条項を設けることで上限はない状態でした。この猶予措置が 2024年4月からなくなり、特別条項を締結しても時間外労働時間の上限は年 960 時間となりました。また「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準（改善基準告示）」の拘束時間の上限や、休息期間の下限も変更になりました。昨年の「36 協定」は期間の末日まで有効ですが、改善基準告示の変更は 4 月からなので労働時間管理の見直しが必要です。



光を放つ 名言コラム

【つまりやりたくない】

7年かけて比叡山を巡る「千日回峰行」など厳しい修行をやり遂げた藤波源信氏。「続けること」をテーマにした朝日新聞のインタビューで「やりたいたいと言いながら行動に移せないのは、つまりやりたくないんです。それは“なまけ心”です」と語っていました。ジョギングしている人を見て自分も走ろうと思ひ、仕事ができる人を見て負けないぞと思う。そこで一念発起して行動するのが理想ですが、やりたくなかったからやめるというのも、実はそう悪いことではないようです。やるにせよ、やらないにせよ、なまけ心も含めて自分の本音に正直でいるほうが、体と心の健康にいい場合もあるからです。やりたいことだが大変なら、続けられるように計画を立てましょう。やりたくないが必要だからやるのであれば、エンジンをぶらさげてもいい。やらないならエネルギーを他に回せませう。三日坊主も繰り返せば、立派な継続なのです。

気軽に Let's 英会話

今月のキーワード : 【cut】

6月から定額減税が実施されますね。「減税」は“tax cut”といいます。「カット」という言葉は、髪を「切る」や、紫外線を「遮断する」などの際にも使われるくらい、日本語でもなじみがあります。この“cut”の後ろに「人+off」を付けると「断つ・さえぎる・切り離す・勘当する」などの意味になります。“Don't cut me off! I'm still talking!”は「話をさえぎらないで！まだ私がしゃべっているんだから！」、「My dad cut me off.”「父さんに勘当されたよ」といった具合です。

お米を炊くときは、沸騰するまでの時間が長いほうが甘みは増し、よりおいしくなるといわれています。そこで炊飯器でお米を炊くときに氷を入れてみましょう。氷の量は、1合につき氷のキューブ1個が目安です。その際に氷の分だけ水の量を減らすのを忘れなく。



ユウタとコハル

画:ゴハチ



振り向けばあそこにも「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【世間は何を見ているか？】

会社の衰退の要因は色々ありますが、中でも「社員の姿勢」は重要な役割を果たします。特に「素直さ」や「誠実さ」に欠ける姿勢は結果的に顧客軽視となり、会社の命運を左右することがあります。素直さとは、新しい知識や技術を学び、自己改善を図る基盤です。素直でない社員は批判を受け入れられず、成長の機会を逃します。これは組織全体の進歩を妨げる要因となり得ます。誠実さは、信頼関係の構築に不可欠です。誠実でない社員は、同僚や顧客との信頼を築くことができず、結果としてチームワークや顧客満足度の低下を招きます。ここまで読んで、特定の社員の顔が浮かんだ人もいるかもしれません。「だからあいつは顧客のウケが悪いし、そのせいで会社の評判が下がっている」といった感じでしょうか。けれど周囲や世間の人、あなたと違った見方をしているかもしれません。すなわち、社員の姿勢は経営者の姿勢。一番見られているのは経営者自身というわけです。では、経営者にとっての素直さ、誠実さとは何でしょうか。まず素直さは、自分の意見や考えに固執せず、他者の意見や新しい情報を受け入れる柔軟性だと思います。こうした姿勢の経営者は、常に学び、自己改善に励み、組織の成長に貢献しているのではないのでしょうか。次に誠実さは、言動が一致して、正直で公正な行動を取ることだと思います。誠実な経営者は、社員のみならず、顧客やビジネスパートナーとも三方よしの関係を築いているように思います。キャリアが長くなればなるほど失われがちな素直さ、誠実さですが「実るほど頭(こうべ)を垂れる稲穂かな」の姿勢でありたいものですね。



ナットク! 気になっていたあの言葉

今月の気になっていたあの言葉：【シンギュラリティー】

人工知能(AI)が人間の能力を超える転換点を指す。「技術的特異点」とも呼ばれ、第一人者として知られるレイ・カーツワイル氏は、2045年にシンギュラリティーに到達すると予測した。技術開発のスピードや、その範囲が飛躍的に向上すると予想される反面、社会や経済に対する影響や倫理的な問題などが懸念される。

事務所公式LINEを始めました。
法改正など必要な情報を短い動画で配信していきます。
ぜひ登録してください!



就業規則・給与計算・有休の相談などなら
社会保険労務士・行政書士 中奥事務所

〒668-0024

兵庫県豊岡市寿町5-3

電話：0796-24-8677

FAX：0796-24-8678

